



只見町ブナセンターだより

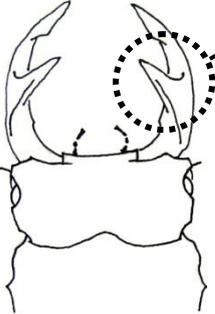
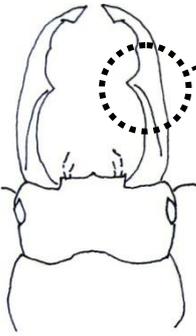
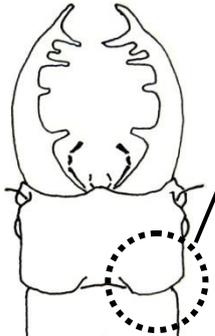
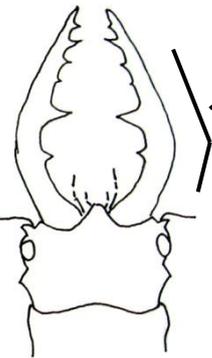
8月号

夏休みの宿題はおわったかな！

クワガタムシを見分けよう！

～今年の夏はクワガタムシを探しに出かけよう～

只見町には、コクワガタ、オオクワガタ、ノコギリクワガタ、ミヤマクワガタ、アカアシクワガタ、スジクワガタ等、色々なクワガタムシがいます。今回はその中から、オオクワガタ、コクワガタ、ミヤマクワガタ、ノコギリクワガタの4種を紹介します。詳しくは「只見と世界の昆虫展」をご覧ください。

<p>オオクワガタ</p>  <p>ポイント 上向きの大きな歯が特徴。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体色：黒色。 ・体長 オス：32～75mm メス：34～45mm 	<p>コクワガタ</p>  <p>ポイント 横に突き出た小さな歯が特徴。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体色：黒色。 ・体長 オス：16～53mm メス：20～31mm
<p>ミヤマクワガタ</p>  <p>ポイント① 体の表面に、細かい毛がたくさん生えている。</p> <p>ポイント② 頭部の後ろが突き出ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体長 オス：43～76mm メス：25～40mm 	<p>ノコギリクワガタ</p>  <p>ポイント 大あごが、強く内側に曲がっていることが特徴。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体色：こげ茶色。 ・体長 オス：33～74mm メス：24～35mm

～メモ～

クワガタムシを探しに行こう！

※大人の人と一緒に出かけましょう。

昼間：コナラやミズナラなどの樹の洞に身を隠しています。雑木林へ探しに行こう！

夜間：クワガタムシは光に集まる習性があります。街灯の下を探しに行こう！

※昆虫にも個性があります。そのため、同じ昆虫でも形が異なるものがあります。

■ブナを知ろう①—「葉っぱ」 みんながイメージする木の葉らしい形がブナだよ

○似ている葉っぱと見分けるポイントは葉のふちが波状で葉脈のところが凹んでいること

○ブナの葉脈は 8~10 本。太平洋側に生える似た種類のイヌブナは 10~13 本

○只見をはじめ東北の日本海側など、寒くて湿潤な地域の葉っぱは、西日本などと比べてサイズが大きい！暑くて乾いた地域では、葉っぱから水分が蒸発するのを防ぐために、葉を小さくします

◆「只見の秋の実り展」にご協力をお願いします◆

次の特別展示「只見の秋の実り展」は、只見町で集めた木の実やキノコを標本にして展示します。また、果実酒や乾物、細工などの加工品も展示します。作った標本は展示終了後も大切な資料として保管します。

スタッフ一同、標本づくりに奮闘しております！キノコや果実など、山の幸については地域の方が一番くわしいと思います。そこで只見町のみんなが集めたぬくもりある展示にしたいです。ご協力いただける方は、ブナセンターのスタッフに声をかけてください。一緒に、たのしみながら集めましょう。

みなさんのお力を貸してください

- 木の実やキノコを届けてくれませんか
- キノコ標本はフトン乾燥機とダンボールで作ります
要らないフトン乾燥機を貸してください
- 果実酒や乾物、細工物などを展示用に貸してください
- いろんな情報をお待ちしています

● 今後の予定

- 特別展示「只見の秋の実り展」10月2日(土)~11月23日(祝)
- ブナセンター講座「キノコと森について語ろう」 講師:瀬畑雄三さん 10月下旬
- 特別展示「只見の民具とその材料展」12月~3月
- ユネスコ エコパーク(生物圏保存地域)に関する講演会
10月31日(日) 講師:酒井暁子さん(横浜国立大学大学院 准教授)

● 8月のイベン

バードカービング展

日時：8月20日（金）～22日（土） 最終日は正午まで

会場：ただみブナと川のミュージアム「セミナー室」

入館料：高校生以上 300 円、小中学生 200 円、未就学児無料

バードカービング作家の遠藤勇さん（神奈川県在住）は、只見町のファンでこの夏も訪れます。滞在中に、バードカービングについて知ってもらおうと、ヤマセミやカワセミ、アカショウビンなどの作品 20 点ほどを展示します。

バードカービングとは、野鳥の姿をリアルに再現した木工細工のこと。その歴史は古く、1800 年ごろのアメリカで、カモ猟のおとりとして使っていた鳥の木型を、アートとして作るようになったのがはじまりです。日本には 1979 年に紹介され、自然が好きな人たちの趣味や博物館などで展示するはく製の代わりとして広まりました。

期間中は、ただみの自然に学ぶ会による体験教室がおこなわれます。くわしくは只見町ブナセンター ☎0241(72)8355 にお問い合わせください。

● 9月のイベント

田子倉湖ブナ探検隊

自然観察&発電所見学

日時：9月25日（土）午前9時～午後4時

集合：午前9時 だけみ・ブナと川のミュージアム

費用：1人 3500 円（入館料＋ボート代＋保険代）

※昼食代は含まれません

申込：事前に只見町ブナセンター

☎0241(72)8355 へお申込みください

【プログラム】

9:00 ミュージアムに集合して
車で田子倉湖へ移動

9:30 ボートで自然観察

12:30 レイクビューで昼食

14:00 田子倉発電所見学ツアー

15:00 ミュージアムに戻って、
館内の見学と説明

16:00 解散

午前中は、ボートに乗って田子倉湖で自然観察をします。湖面から山々を眺めると、雪崩によって削られた地形など、只見の自然がよくわかります。そしてブナ林や滝をまわります。運がよければ、イヌワシなど山深くに生息する鳥たちが現れるかも。

午後は、田子倉発電所を見学します。今年はダムが竣工して 50 年、発電がはじまって 51 年という年季の入った発電所ですが、ここが東京へ電気が送られています。今年 11 月から再来年5月まで設備工事のために見学できなくなるので、この機会にご参加ください。

9月4日（土）午後6時25分～30分、FTV 福島テレビ「歳時記の郷 奥会津～景色～」という番組のはじめで、田子倉湖と だけみ・ブナと川のミュージアムが紹介されます

【ただみ・ブナと川のミュージアム特別展示】

只見と世界の昆虫展

会期：好評につき9月26日（日）まで会期を延長しました

会場：ただみ・ブナと川のミュージアム「2階ギャラリー」

入館料：高校生以上 300 円、小中学生 200 円、未就学児無料

只見町小林出身の角田亘(つのだ・わたる)さんが、只見町で採集した 2000 種の昆虫標本を大公開。オオクワガタやオオムラサキなどの人気者をはじめ、カメムシやアブなどの嫌われ者まで只見は昆虫の宝庫です。

そしてカミキリムシなどの研究で知られる林業科学技術振興所主任研究員の槇原寛(まきはら・ひろし)さんが、本展のために選んだ世界の昆虫標本を展示します。世界最大級のセミや珍しい形の甲虫のほか、ナラ枯れの原因についても解説します。



角田亘さん／1974 年、只見町小林で生まれ育つ。横須賀市自然・人文博物館研究員を経て、現在は神奈川県で造園業に就く。只見町での昆虫採集がライフワーク。『只見とっておきの話』に「只見町の昆虫たち」を寄稿している。

角田亘さんのコメントより

只見町では、昆虫がいるのが当たり前でそれがごく普通のこととして捉えられています。しかし、他の都道府県から見ると、昆虫を調査・研究するフィールドでこれほど恵まれた地域はないといっても過言ではありません。

今回紹介できた昆虫類を基に今後調査を継続し、町の昆虫相の解明に努めていきたいと考えています。また、この展示を通じて少しでも昆虫に興味・関心を持つ人材が増えることを願っています。



Tel 0241 (72) 8355 fax 0241 (72) 8356

〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下 2590 番地「ただみ・ブナと川のミュージアム」内

HPO <http://www.tadami.gr.jp/kankou/buna/buna.htm>

ブログO <http://tadamibuna.blog2.fc2.com/>

E-mail O info-buna@amail.plala.or.jp

